

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## ペガサスわくわくランド

横浜市磯子区森 2-13-16

運営主体：有限会社 ウェルテックサンワ

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～14 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	15～22 ページ
利用者本人調査分析	23～25 ページ
事業者コメント	26 ページ

2009年3月23日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	ペガサスわくわくランド	
報告書作成日	2009年3月12日	評価に要した期間 10ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:08年03月01日 ~ 08年12月05日</p>	<p>職員会議で趣旨を説明後、乳児担当・幼児担当のグループに分れて読み合わせをしながら、各自が自己評価票に記入した。記入した全員の自己評価票を持ち寄り、職員会議で意見交換しながら一つにまとめた。</p> <p>さらに園長・主任・副主任で協議し、最終的なまとめを行った。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:08年12月1日 ~ 08年12月14日</p>	<p>全園児の保護者(59家族)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 09年1月21日 第2日 09年1月26日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスで保育観察。 昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後:書類調査。その後、園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:朝は登園の様子を観察。保育士1名に面接調査後、各クラスで保育観察。 昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後:各クラス担任保育士5名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長・主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 09年1月21日 第2日 09年1月26日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施した。戸外・園外での活動も観察。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

「ペガサスわくわくランド」は、京浜急行「屏風浦」駅から、徒歩約5分の住宅地の中にあります。近くには、森浅間神社や運動広場・公園があり、子どもたちの遊び場となっています。園舎は、鉄筋コンクリート造り3階建て集合住宅の1・2階を改装したもので、1・2階の往き来は、外階段を利用しています。

定員は、60名（0～5歳児・産休明け保育あり）で、平日の開園時間は7時～20時、土曜日は7時～17時30分です。

当園は、「有限会社ウェルテックサンワ」により、2000年（平成12年）9月、無認可保育所として開設されたのが始まりです。その後、横浜保育室を経て、2003年（平成15年）9月、認可保育所となりました。現在、「有限会社ウェルテックサンワ」は、当園のほか、同じ建物の3階で、児童デイサービス施設（障がいのある子どもたちの通所支援「わくわくキッズホーム」）や、障がいのある人の就労支援小規模作業所「ハンディジャンプ」などを運営しています。

当園の保育理念は、「一人ひとりを大切にする保育」と定め、それに基づいて、保育目標として、心身ともに健やかな子どもを育てる 人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てる 体験を通じて感情豊かに育てる、の3つを掲げています。保育方針は、「縦割り保育を主として異年齢の関わりを多く持ち、保育士や子ども同士の遊びの中から、思いやりの心、ゆずりあう心、やさしい心を育てます」「家庭的な雰囲気の中で個々を大切に、発達段階に合わせて保育を行います」としています。

### 高く評価できる点

#### 子どもたちは、元気に園生活を楽しんでいます

子どもたちは、クラス別活動と異年齢保育とのバランスのとれたプログラムの中で過ごしています。

クラス別活動では、園庭で鬼ごっこをしたり、三輪車や自動車を乗り回したり、散歩先の運動公園では、追いかっこ・ボール遊び・フラフープを使った電車ごっこなどをして、思いっきり身体を動かして、元気に遊んでいます。また、週1回のリズム遊びでは、それぞれの年齢に応じた動きをして、楽しんでいます。製作やお絵かきなどの時間も多く設けられ、子どもたちは自分の思いを表現しようと懸命になっています。

また、0～2歳児は、グループ担当制保育を取り入れ、クラスを月齢や発達に合わせて少人数の2～3グループに分けることで、一人ひとりの子どもに対してきめ細かい対応ができるようにしています。クラス別活動の時間でも、グループごとに違った遊びをすることもあり、子どもたちの様子に応じて柔軟に対応しています。

さらに、「異年齢の関わりを多く持つ」という保育方針のもと、子どもたちが、クラスの枠にとらわれないで過ごす時間も多く設けています。例えば、朝の自由遊びの時間は、どの保育室で過ごしてもよく、年上の子どもが年下の子どもを誘って一緒に遊んだり、自分の好きな絵本やおもちゃを他のクラスの棚から選んできたりしています。0歳児が保育士に抱っこされて1歳児の部屋に連れていってもらったり、2階の2～5歳児が、1階の0・1歳児の部屋で遊んでいたりすることもあります。このような日々の交わりは、保育室と保育室の間が低い棚などで仕切られ、オープンなつくりとなっていることで可能になっています。

また、年齢の高い4・5歳児は、ほとんどが合同保育になっています。さらに、8月の一ヶ月間は、3・

4・5 歳児が縦割りで二つのグループに分かれた異年齢合同保育を行っています。日々の交わりや、合同保育を通じて、「おもいやり、ゆずりあい、やさしさの心」が育つようにしています。

このような活動の中で、保育士は、子どもたちが自分でできることをしていくように見守り、担当クラスの枠にとらわれず、どの子どもに対しても適切な援助や声かけをしています。その背景には、職員会議やクラスミーティング、乳児組・幼児組の打ち合わせなどで、職員全員が一人ひとりの子どもの情報を共有していることや、内部研修や外部研修で、“こどもができるまで待つべきこと”や“きちんと教えるべきこと”などを全職員が学び、日々の保育に活かしていることが挙げられます。

子育てを経験した保育士が多く、子どもたちはくつろいだ様子で過ごしていて、家族アンケートでも、“安心して預けられる”と信頼されています。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、マニュアル・書類の整備

「要望・苦情解決」「子どもの健康管理」「感染症への対応」「衛生管理」「安全管理」「ボランティア・実習生受け入れ」などに関し、業務に応じて、手順書・フローチャート・一覧表・チェックリストなどの形で文書は作成されています。さらに、取り上げている項目や内容などが十分であるかどうかなどを見直し、より充実したものとするのが望まれます。

今あるこれらの文書を見直し、誰にでも分り、使い易いマニュアルを作成することは、日々の業務を振り返り、良くできている点は標準化し、改善すべき点があれば、どのようにすべきかを検討する機会となるとともに、必要な記録などの書類も明確になります。マニュアル・書類の整備について、定期的な見直しをどのようにするかも含めて、全職員で話し合い、検討することが望まれます。

### 2、子育て支援への取り組み

園庭・保育室が狭いなどの制約があり、園庭開放・一時保育などは行っていませんが、園の子どもたちが散歩に出かけるとき、絵本や紙芝居、エプロンシアターの用具などを保育士が持参し、散歩先の公園などで遊んでいる地域の親子にも声をかけ、園児と一緒に見たり聞いたりするように勧めています。しかし、このような子育て支援の取り組みが地域の人々に十分に周知されているとはいえません。定期的開催するようにし、地元の町内会・自治会などと連携して周知を図ることなどが期待されます。それにより、参加する親子が増えることで、地域の子育て支援のニーズを把握することも容易となります。

さまざまなニーズの中から、例えば、定期的に育児相談日を設けることや、地域の施設などを利用して講演会を開催するなど、園庭や保育室を使わないでもできる子育て支援の可能性を検討することが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育理念は、「一人ひとりを大切にする保育」とし、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 子ども的人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育を行ってはならないことを、内部研修で取り上げ、全職員が認識しています。
- ◇ 個人情報保護の取り扱いを、保護者に説明しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 0～2歳児クラスは、それぞれ月齢や発達に合わせて2～3グループに分けたグループ担当制保育を取り入れています。
- ◇ 異年齢の子ども同士の関わりを重視し、3～5歳児と一緒に過ごす時間を多くしています。
- ◇ 保育室と保育室の間を、低い棚などで仕切り、いつでも異年齢児が交流できるつくりとしています。
- ◇ リズム遊び、鍵盤ハーモニカや和太鼓を使った演奏を取り入れ、子どもの年齢や発達状況に合わせて自由に表現できるように配慮しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 年齢ごとに、年間指導計画、月間指導計画を作成しています。
- ◇ 月齢の低い子どもや、新しい環境に慣れにくい子どもは、保護者の了解を得て、新年度になっても、しばらくの間、前年度の部屋で過ごせるようにするなどの配慮をしています。
- ◇ 園児が、園と同じ建物の3階にある児童デイサービス（障がいのある子どもを支援する「わくわくキッズホーム」、園と同じ会社が運営）を訪問したり、園の運動会にデイサービスの子どもが参加したりして、交流を図っています。
- ◇ 手順書・フローチャート・一覧表・チェックリストなどの文書が作成されていますが、取り上げる項目や内容が不十分なもの、定期的な見直しが行われていないものなどが見受けられます。マニュアル・書類の整備について検討することが望まれます。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 地域の子育て支援として、公園などで地域の親子を対象に、エプロンシアターなどを行っています。これを、定期的で開催するなど、園として、さらにどのような子育て支援が可能かを検討することが望まれます。

### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 守るべき法・規範・倫理などは、「全国保育士会倫理綱領」に拠るものとし、全職員に配布し、周知しています。
- ◇ 10年の長期計画、5年の中期計画を作成しています。

### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 通年で行われる市・区の研修・区保育士会の研修・南部地域療育センターの勉強会や、その他の外部研修などに職員が参加しています。
- ◇ 新任保育士に対しては、経験の豊富な保育士がマンツーマンで付き、指導する体制をとっています。約3ヶ月間、毎日、保育日誌を書き、それに対し指導保育士がコメント・助言などをして、実践的な力をつけるようにしています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。








「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は、「一人ひとりを大切にする保育」と定め、それに基づき、保育目標として、心身ともに健やかな子どもを育てる 人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てる 体験を通じて感情豊かに育てる、の3つを掲げています。</li> <li>・ 保育方針は、「縦割り保育を主として異年齢の関わりを多く持ち、保育士や子ども同士の遊びの中から、思いやりの心、ゆずりあう心、やさしい心を育てます」「家庭的な雰囲気の中で個々を大切に発達段階に合わせて保育を行います」としています。</li> <li>・ 保育計画を具体的に展開した指導計画の中で、一人っ子が多いことから異年齢の関わりを多くしたり、保護者がいつでも保育参観・保育参加できるようにしたりするなど、保育方針・地域の実態・保護者の就労状況などを配慮しています。</li> <li>・ 「えんのしおり」に、保育理念・目標・方針を記載し、保護者に伝えているほか、クラス懇談会などで、保護者に説明しています。また、クラスだよりに、「今月の目標」を記載し、保護者に伝えています。</li> <li>・ 子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっていて、月間指導計画は、前月の実績を踏まえ、子どもの様子や発達状況なども配慮して、柔軟に変更しています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園説明会を開き、保護者に面接しています。また、入園説明会に子どもを連れてきてもらい、保育士が子どもを観察しています。</li> <li>・ 0,1歳児の新入園児に対して、個人別に主担当保育士を決めています。</li> <li>・ 月齢の低い子どもや、新しい環境に慣れにくい子どもは、保護者の了解を得て、新年度になっても、しばらくの間、前年度の部屋で過ごせるようにするなどの配慮をしています。</li> <li>・ 年齢ごとに、年間指導計画、月間指導計画を作成しています。</li> <li>・ 保育方針・保育計画に基づき、0～2歳児クラスは、それぞれ月齢や発達に合わせて2～3グループに分けたグループ担当制保育を取り入れ、4・5歳児はほとんどの活動を一緒に行う合同保育としています。</li> </ul>

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園の屋内・外とも清掃が行き届き、清潔に保たれています。</li> <li>・ どの保育室も南面していて、陽光が十分に取り入れられています。夏期には園庭に大きな日よけネットを張り、紫外線対策をしています。</li> <li>・ 沐浴設備・温水シャワーなどの管理や清掃は、十分に行われています。</li> <li>・ 保育室は、食事の終わった後、片付け・清掃をして布団を敷くなど、「食べる」「寝る」の場所を時間で使い分けています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0・1・2 歳児には、月間指導計画の中に、個人別に配慮事項を記載しています。</li> <li>・ 3~5 歳児について、特別な課題がある子どもには、月間指導計画の中に、配慮事項を記載しています。</li> <li>・ 個人別の子どもの配慮すべき事項などは、懇談会や個人面談などの際に、保護者に説明しています。</li> <li>・ 児童票・入園面接時記録・個人面談記録・保育経過記録などは、個人別にファイルし、必要に応じ全職員が見ることができるようにしています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に配慮を要する子どもの保育について、外部研修などに参加した職員が、職員会議で報告し、職員間で情報を共有できるようにしています。</li> <li>・ 園舎は、3階建ての集合住宅の1・2階を改装したものであり、バリアフリーとはなっていません。</li> <li>・ 障がいのある子どもの保育について、職員会議で常に話し合っています。</li> <li>・ 園児が、同じ建物の3階にある児童デイサービス施設（障がいのある子どもを支援する「わくわくキッズホーム」、園と同じ会社が運営）を訪問したり、園の運動会にデイサービスの子もたちが参加したり、交流を図っています。</li> <li>・ 職員会議などで、全職員に対しアレルギー疾患に関する情報を周知しています。</li> <li>・ 文化や生活習慣の違いを認め、保護者からの要望を尊重しています。宗教上の理由で食べられない食材がある場合には、代替食を用意しています。</li> <li>・ 日本語による意思疎通が困難な保護者には、できるだけ丁寧に説明したり、翻訳ソフトを使用してその国の言語に変換した書類を作成したりしています。日本語文章を読むのが不得手な保護者には、日々の活動の様子を伝える連絡ノートは、ローマ字やカタカナで書いています。</li> </ul>


## - 6 苦情解決体制



- ・ 「えんのしおり」や園内の掲示に、要望・苦情を受け付ける担当者は主任であること、および第三者委員 2 名の名前と電話番号を記載し、第三者委員に直接相談できることを保護者に伝えています。
- ・ 要望・苦情を受け付ける「ご意見ポスト」を設置しています。
- ・ 第三者委員を交えて対応する仕組みがあります。
- ・ 要望や苦情があった場合には、その解決策や対応も含め、職員会議などで、職員に周知しています。



## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 棚や引き出しに、おもちゃや素材等を種類ごとに整理して入れてあり、子どもが自分で取り出して遊べるようになっています。</li> <li>・ 保育室は、1階、2階共にオープンスペースなので、棚や牛乳パックで作った仕切りなどを使い、部屋をいくつかのコーナーに分けることで落ち着いて遊べるようにしています。</li> <li>・ 子どもの成長やその時の気持ちに応じて、子どもたちは、オープンスペースの保育室であっても、自然な様子で、好きな場所を選び、それぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしています。</li> <li>・ 園庭の花壇では、ひまわりなどの花や、収穫の出来るサツマイモやトマトなどを季節に応じて栽培したり、ザリガニやカメに5歳児が当番で餌をあげたり、水槽の掃除をしたりするなどの体験を、保育活動に取り入れています。</li> <li>・ 子どもたちは公園などで、地域の子どもたちと一緒に紙芝居を見たり、幼児クラスが、G30、紙すきなどの区役所のイベント等に参加したりして、地域の人々との交流の場を設けています。</li> <li>・ リズム遊びや、鍵盤ハーモニカや和太鼓を使った演奏を取り入れ、子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮しています。</li> <li>・ 0～2歳児クラスは、グループ担当制保育を行い、それぞれ月齢や発達にあわせて2～3グループに分け、子どもたちが無理なく過ごせるように工夫しています。グループ毎に担当保育士が決まっています、睡眠、食事、遊びを通して子ども1人ひとりを見守り、愛着行動、自己主張を受け止めるように努めています。</li> <li>・ 晴れた日には、殆ど散歩や園庭遊びを行うなど、屋外活動を積極的に取り入れています。散歩や屋外活動などを行う際には、首の後ろもおおえる日除け帽子を使用し、夏期は園庭に大きな日除けネットを張り、紫外線対策をしています。</li> </ul>

## - 1 保育内容[生活]







- ・ 保育士は、楽しく食べることを大切にして、子どもの負担にならないように嫌いなものも一口だけ食べてみるようにすすめて、食べられたときには誉めるようにしています。
- ・ 子どもたちが食事及びその過程（調理・配膳・片づけ）に関心を持つように、年齢に合わせてお月見団子づくりやクッキー作りなどのクッキングを行ったり、さつまいも、トマト等の栽培を行ったり、とうもろこしの皮むき体験等、子どもが参加できる機会を設けています。
- ・ 季節感のある献立や食欲を促す盛りつけなどの食事作りに配慮し、クリスマスにはパイキングにするなど、子どもが楽しんで食べられるような工夫をしています。
- ・ 給食の食材は毎日納品される近くの店を利用し、出来るだけ国産の物を選んでいきます。
- ・ 食器は、安全性に配慮するほか、乳児には自分でスプーンを使ってすくいやすいように、重めの陶器の器を使うなど、子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用しています。
- ・ 調理担当者は、保育士から、子どもの反応や調理への要望などを給食ミーティングで聞いたり、子どもと一緒に食べたりして子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫しています。
- ・ 「親子お楽しみ会」では、幼児食への移行時にあわせ、2歳児の保護者に対する試食会を開催し、栄養・味付け・食べ方（噛み方）等、園で配慮していることを知らせています。
- ・ 眠れない子ども、1人では寝付けない子どもは、保育士がそばにつき、声かけや身体をさするなど午睡を強要せず、静かに過ごさせるように柔軟に対応しています。
- ・ 5歳児には適当な時期から午睡を一斉活動とせず、一人ひとりの子どもの様子に応じていますが、1月から、全員が午睡をしない日を少しずつ増やし、小学校入学に備えています。
- ・ トイレトレーニングは、一人ひとりの発達状況に応じて排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重し、保護者の希望も考慮して個別に対応しています。



## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]






- ・ 子どもの健康管理に関して、視診などについて記載した「保育士資質向上マニュアル」があり、それに基づき、子ども一人ひとりの健康状態を把握しています。
- ・ 園での子どもの健康状態は、連絡ノートに記載するだけでなく、必要に応じて担任保育士が残り、直接保護者に伝えた上、降園後の対応について話し合っています。
- ・ 子ども一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録があり、個別にファイルし、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしています。
- ・ 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応については感染症早見表があり、「入園のしおり」に添付して保護者に周知しています。
- ・ 保育中に発症した時は、保護者への連絡を速やかにし、保護者の事情も考慮し、事務室のベッドで休ませるなどの対応をしています。

<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理マニュアルは定期的に見直す他、職員ミーティングで取り上げています。</li> <li>・ マニュアルに基づき清掃等を行い、保育室、トイレなどの場所ごとに清掃チェック表を作成し、清掃漏れがないよう工夫しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関して、地震・火災時の対応手順についてそれぞれフローチャートで判りやすく記載し、ミーティングで取り上げ、全職員に周知しています。また、安全点検表を使い、週1回、室内、園庭、遊具、おもちゃなどの安全確認を行っています。</li> <li>・ 各保育室に緊急時の電話対応の手引きが掲示しており、緊急連絡先を作成するなど、緊急連絡体制が確立しています。</li> <li>・ 子ども向けに、神奈川県安全防災局安全・安心まちづくり推進課による「誘拐防止キャラバン・ワークショップ」を実施し、着ぐるみによるロールプレイで、不審者対応についての啓発を行っています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども的人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育を行ってはならないことを、内部研修で取り上げ、ロールプレイなどを行い、全職員が認識しています。</li> <li>・ 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせるように、園長室を開放し、1人で過ごせるように配慮しています。</li> <li>・ 個人情報の取り扱いについて、保護者に口頭で説明するとともに、文書化し配布しています。</li> <li>・ 虐待の定義については、外部研修を受けてきた職員が、職員会議で報告し、全職員に周知され、必要に応じて福祉保健センターや児童相談所などの関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えています。</li> <li>・ 順番、グループ分け、整列の仕方、遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていません。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各保育室に園の保育理念・保育目標・保育方針を掲示し、保護者会や懇談会などでも説明し、保護者に理解されるように努力しています。</li> <li>・ 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるように配慮する他、連絡ノートを使って、保護者との情報交換を実施しています。連絡ノートは、全園児一人ひとりに対して使用しています。</li> <li>・ 保護者から相談を受けた職員が適切に対応できるように、園長や主任から助言が受けられる体制があり、相談内容・経過が記録され継続的なフォローをしています。</li> <li>・ 保育パパ、ママを募って一日一緒に過ごす日を設けています。また、保育の一端に触れてもらうための、1、2歳「親子お楽しみ会」には、ほとんどの保護者が参加しています。</li> <li>・ 保護者会が主催する、動物園への遠足やバーベキューなどのイベントが毎年あり、職員は積極的に参加し、協力体制をとっています。</li> </ul>




## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域での子育てを支援するためのサービスとして、地域の親子を対象に、公園でエプロンシアターなど楽しめる題材を提供して、共感を得ています。</li> <li>・ 地域の子育て支援ニーズを把握するため、公園でのエプロンシアターに参加した保護者などにアンケート調査をしています。今後は、より広範囲で、いろいろな機会に、施設に対する地域の要望を把握するための具体策を講じることが望まれます。</li> <li>・ 園庭や施設の状況などから、地域への開放には限界はありますが、専門性を活かして、地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を、地域の施設などを利用して開催するなどの検討が期待されます。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な関係機関・地域の団体等のリストがあり、情報を職員が共有し、連携については園長が担当しています。</li> <li>・ 福祉保健センターや児童相談所などの関係機関・団体等との日常的な連携ができています。</li> <li>・ 園からのお知らせを地域に回覧するなどの情報提供が望まれます。</li> </ul>




## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方で、運動会の準備などの手伝いを申し出てくれた人などを運動会に招待するなど、良い関係が出来ています。</li> <li>・ 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図り、小学校との交流会でチューリップの球根を植えたり、秋まつりなどに参加しています。</li> <li>・ 近隣との友好的な関係を築くために、保育所周辺の清掃を積極的に行っています。</li> <li>・ 地域の伝統行事である森浅間神社のどんど焼きや豆まきなどに参加しています。</li> <li>・ 毎年、磯子まつりに参加して、自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事に取り組むなど、地域の団体、機関と定期的・計画的な交流があります。</li> <li>・ 園庭が狭いなどの事情があり、地域への施設開放は行っておらず、また、備品等などの貸し出しも行っていない。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区のイベントに参加したときの写真を新聞社に提供し、載せてもらっています。</li> <li>・ 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっています。</li> <li>・ 見学希望があったときには、保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明しています。</li> <li>・ ボランティア受け入れにあたり、主任が、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明し、受け入れ時の記録が整備されています。</li> <li>・ 実習生の受け入れについては、主任が担当し、受け入れ時の実習生受付記録が整備されています。</li> <li>・ 実習生の受入は積極的に行い、それぞれの実習生の実習目的に応じた効果的な実習になるようにプログラム等を工夫しています。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園運営に十分な人材構成となるように、必要に応じ、人員の補充を行っています。</li> <li>・ 人材育成計画を作成するには至っていません。</li> <li>・ 新任保育士に対しては、経験の豊富な保育士がマンツーマンで付き、指導する体制をとっています。約3ヶ月間、毎日、保育日誌を書き、それに対し指導保育士がコメント・助言などをして、実践的な力をつけるようにしています。</li> <li>・ 通年で行われる市・区の研修・区保育士会の研修・南部地域療育センターの勉強会や、その他の外部研修などに職員が参加しています。</li> <li>・ 外部研修に参加した職員は、職員会議などで報告し、職員間で情報を共有して、保育に活かすようにしています。</li> <li>・ 非常勤職員も、職員会議や毎日行われるクラスミーティングに参加し、保育上の課題・技術などを常勤職員とともに話し合うことで、非常勤職員の資質向上への取り組みとしています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議で、保育技術の上での課題などを話し合い、見直しをしています。</li> <li>・ 外部研修などで得た他施設などの事例を参考に、より良いサービスとなるように職員会議で話合っています。</li> <li>・ 外部講師が来園し、子どもたちにリズム遊びの指導を行うとともに、職員も指導方法などを学んでいます。また、児童デイサービス施設（障がいのある子どもを支援する「わくわくキッズホーム」、園と同じ会社が運営）の職員から、障がいのある子どもへの保育について指導を受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務改善提案の書式を定め、職員からの改善提案を積極的に受け入れているほか、職員は、いつでも口頭などで意見・要望などを述べることができます。</li> <li>・ 園長は、年1回、個々の職員と面談し、職員の満足度・要望などを把握しています。</li> <li>・ 経験・能力や習熟度に応じた役割を、期待水準として明文化するには至っていません。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守るべき法・規範・倫理などは、「全国保育士会倫理綱領」に拠るものとし、全職員に配布し周知しています。</li> <li>・ 経営・運営などの情報を、職員や保護者に開示するには至っていません。</li> <li>・ 他施設での不正・不適切な事例などを職員会議で取り上げ、職員に周知しています。</li> <li>・ 紙業者から廃棄予定の紙を譲り受け、折り紙や絵を描く用紙に使用し、ゴミ減量化の取り組みの一つとしています。また、幼児クラスの子どもたちは、区のG-30イベントなどに参加し、ゴミ減量化・分別化などの大切さを学んでいます。</li> <li>・ 環境への考え方、取り組みを、明文化するには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議などで、保育理念・目標・方針を随時説明し、周知しています。そして、年1回の園長と職員の面談の際に、保育理念・目標・方針を職員が理解しているかどうか、確認しています。</li> <li>・ 園長・主任は、子どもたちの「生活発表会」の開催時期を変更した時など、職員および保護者に、理由・経過などを十分に説明しています。</li> <li>・ 職員を、市が行う主任研修や、区保育士会の主任研修に参加させるなど、主任クラスを育成しています。</li> <li>・ 主任は、日々現場に出て、職員の業務状況を把握するとともに、個々の職員に対し、的確な助言や指導を行っています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に影響のある情報は、区園長会、私立保育園園長会、市社協などから得ています。</li> <li>・ 2009年4月から施行される新しい「保育所保育指針」に対応するため、指導計画等の見直しなどを、園全体で取り組んでいます。</li> <li>・ 10年の長期計画、5年の中期計画を作成しています。長期計画の中では、「園児保育と高齢者介護との融合的福祉事業を行う」などを掲げています。</li> <li>・ 運営に関し、税理士などと意見交換しています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2008年12月1日～12月14日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 76.3%（59枚配付、45枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...5人、1歳児クラス...9人、2歳児クラス...12人、3歳児クラス...6人、  
4歳児クラス...9人、5歳児クラス...4人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

園の「保育目標、保育方針」について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者が62%です。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた全員が、保育目標・保育方針に賛同できると回答しています。

#### 【問2】入園時の状況について

「子どもの様子や生育歴などを聞く対応」「一日の過ごし方の説明」は、約90%の満足度(\*)です。「入園前の見学や説明」「園の目標や方針についての説明」「費用やきまりに関する説明」は、80%以上の満足度です。  
(\*)満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合わせた数値（以下同様）

#### 【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」は82%、「保護者の要望が活かされているか」は76%の満足度です。“ほど良い計画であり、親子共々楽しめる内容である”“親子遠足がなくなったり、行事が少ない”など、保護者の意見は、さまざまです。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

##### 遊びについて

「クラスの活動や遊び」「おもちゃや教材」「遊びを通じての友だちや保育者との関り」は、90%以上の満足度です。「戸外遊びを十分しているか」「遊びを通じた健康づくりへの取り組み」は、80%以上の満足度です。「自然に触れたり地域に関するなどの、園外活動」は、約70%の満足度です。“クッキングやリズム遊びがあって良い”“子どもが楽しんでいる”などの声がある一方で、“年齢のわりには、外遊びや園外への散歩が少ない”などの意見があります。

##### 生活について

「給食の献立内容」「子どもが給食を楽しんでいるか」「基本的生活の自立に向けての取り組み」「昼寝や休憩への対応」「体調への気配り」は、90%以上の満足度です。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」は、80%の満足度です。「施設設備」「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」は、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたの数値が、それぞれ33%、47%です。“園庭がもう少し広いと良い”“フェンスが低い。入口も誰でも入れてしまうので不安”などの意見があります。



#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

「園だよりや掲示による情報提供」「園の行事の開催日や時間帯への配慮」「送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換」「子どもに関する重要な情報の連絡体制」「保護者からの相談事への対応」は、80%以上の満足度です。「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応」は、70%台の満足度で、“毎月の育児相談日にいつでも応じるということだけでなく、個人面談日を決めて欲しい”という乳児の保護者からの意見や、“急な残業にも対応してくれる”という声がある反面、“先生によって対応が違うことがある”という意見もあります。

#### 【問7】職員の対応について

「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」は90%以上、「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」「意見や要望への対応」は約85%の満足度です。“園児一人ひとりに、声をかけてくれる”“親身になって対応してくれて、とても安心”“話しやすく、良い雰囲気の先生が多い”などの声がある一方で、“熱心な先生とそうでない先生との落差が感じられる”“質問に対する回答が得られなかった”などの意見もあります。

「アレルギーや障がいのある子どもへの対応」は、“当事者でないので分らない”などで、「その他」の回答が多くなっています。

#### 【問8】保育園を総合的に評価すると

満足度は、91%です。

「安心して預けることができる」「職員の対応や、子どもの遊びには満足している」などの声がある一方で、「行事の日程を平日にするか、土曜日にするかなど、さまざまな保護者がいることを考えて欲しい」「防犯対策を願う」「親が休みの日であっても、土曜日保育は柔軟に対応して欲しい」などの要望や意見があります。

#### まとめ

- ◇ 「日常の保育内容」「園と保護者との連携・交流」「職員の対応」の設問の中で、特に満足度が高いのは、遊び・・・「クラスの活動や遊び」「遊びを通じての友だちや保育者との関り」生活・・・「給食の献立内容」「子どもが給食を楽しんでいるか」「基本的生活の自立に向けての取り組み」「昼寝や休憩への対応」「体調への気配り」職員の対応・・・「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」です。

子どもたちが園生活を楽しんでいることに、保護者は安心していることがうかがえます。

- ◇ 一方、「園と保護者との連携・交流」では、「不満」「どちらかといえば不満」を合わせた数値が、他の設問に較べて、やや多くなっています。

どのようなことを保護者が望んでいるかなど、保護者会などと話し合うことが期待されます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

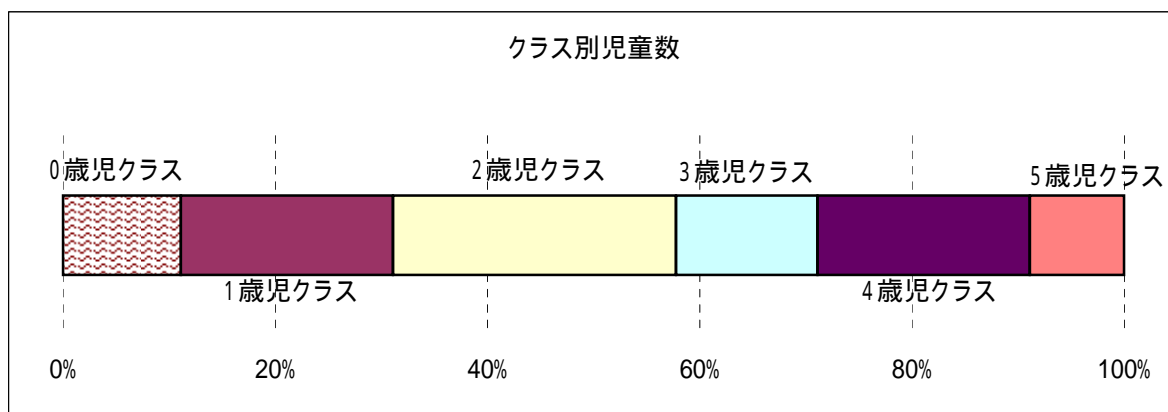
実施期間： 2008年 12月1日～12月14日

回収率： 76.3%（回収45枚／配布59枚）

### 【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
45	5	9	12	6	9	4	0

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて記入



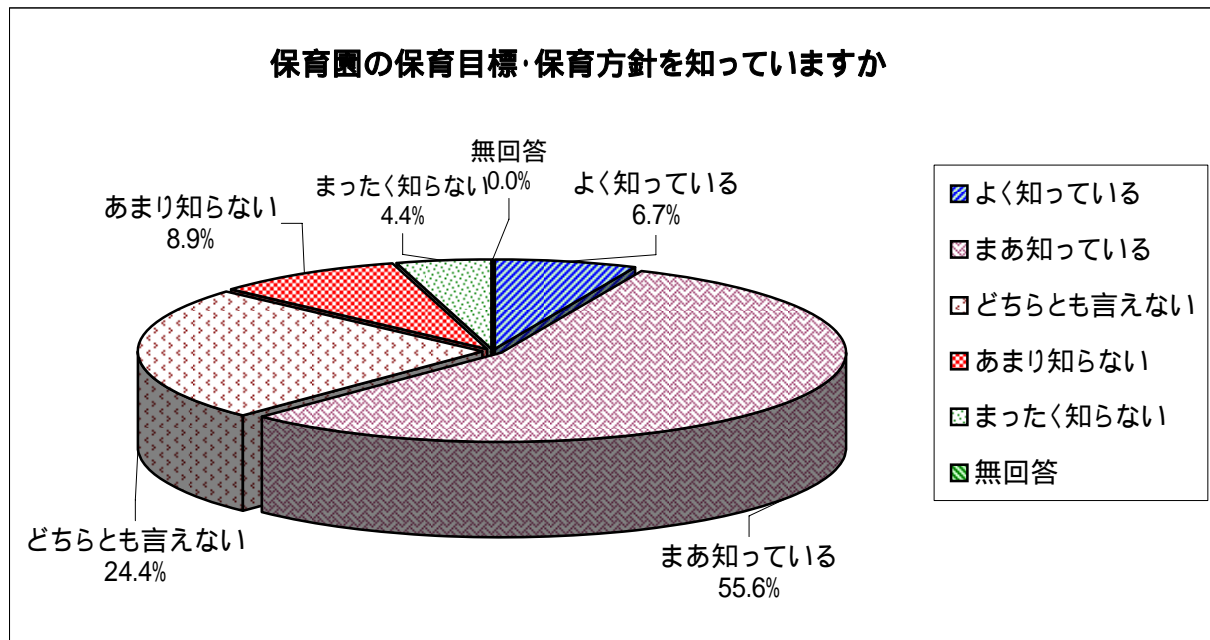
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	6.7	55.6	24.4	8.9	4.4	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

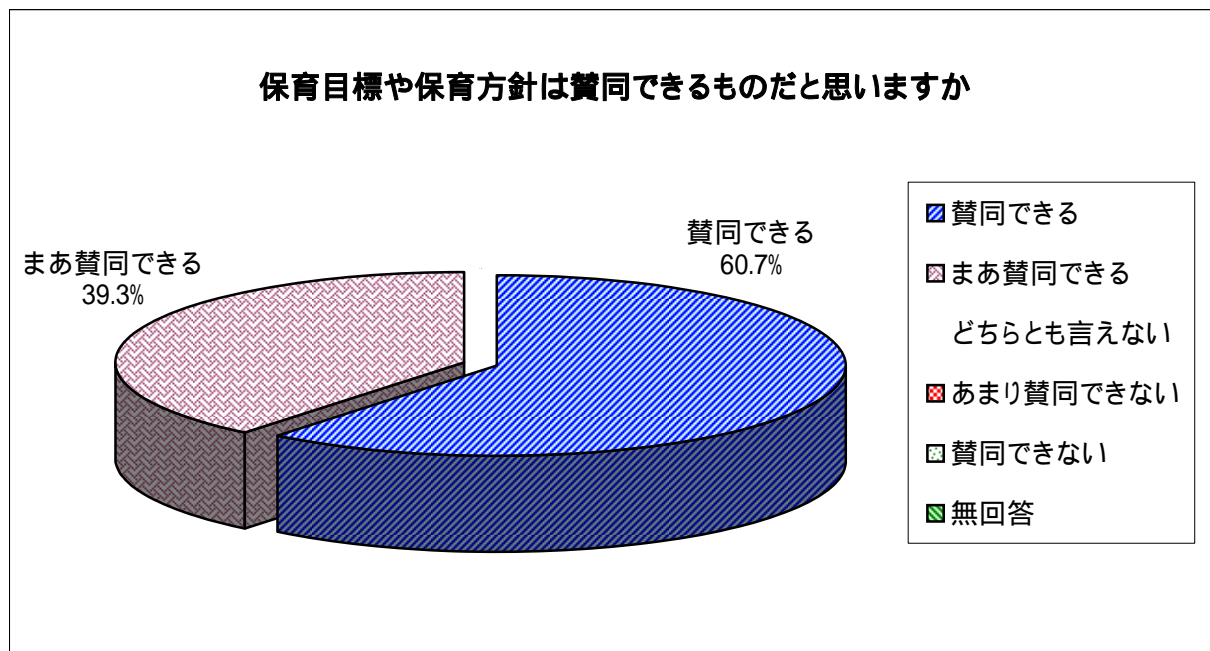


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	60.7	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100



# 保育園のサービス内容について

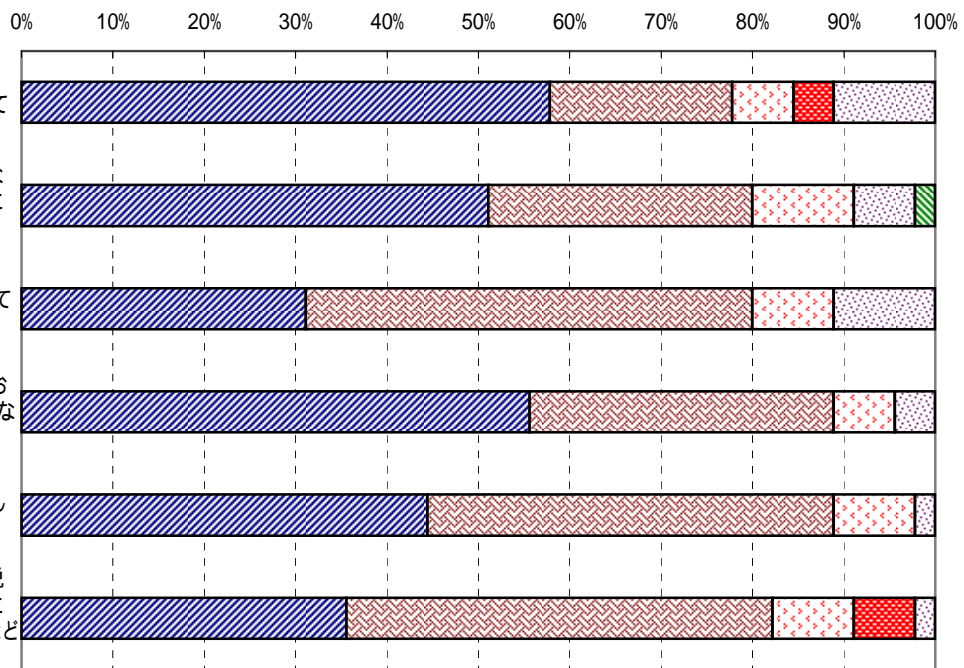
## 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	57.8	20.0	6.7	4.4	11.1	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	51.1	28.9	11.1	0.0	6.7	2.2	100
園の目標や方針についての説明には	31.1	48.9	8.9	0.0	11.1	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	55.6	33.3	6.7	0.0	4.4	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44.4	44.4	8.9	0.0	2.2	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	35.6	46.7	8.9	6.7	2.2	0.0	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



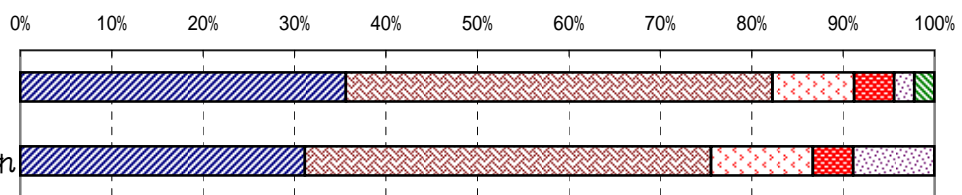
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	35.6	46.7	8.9	4.4	2.2	2.2	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	31.1	44.4	11.1	4.4	8.9	0.0	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

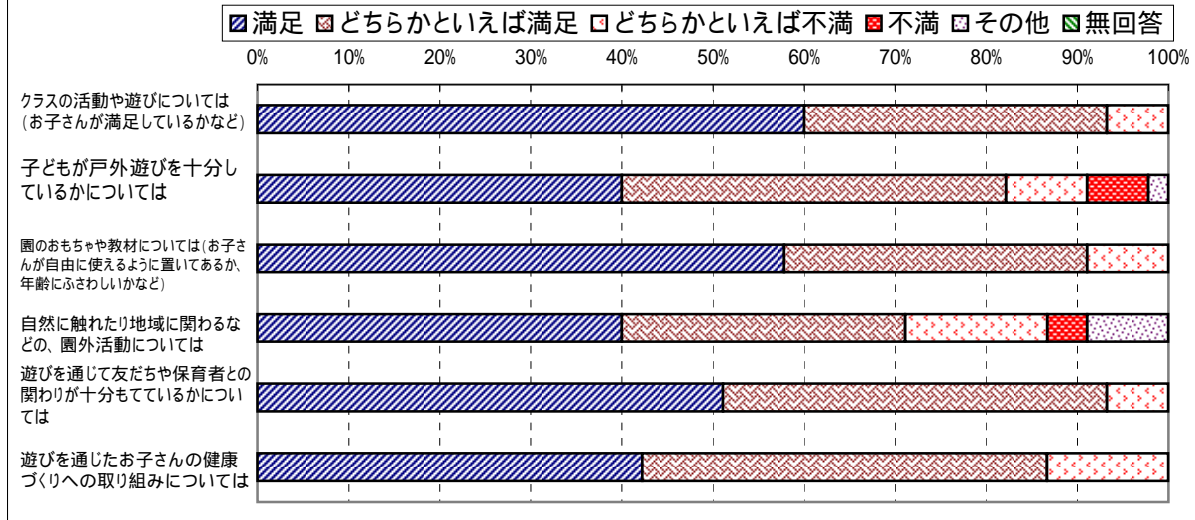


# 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	60.0	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	40.0	42.2	8.9	6.7	2.2	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	57.8	33.3	8.9	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	40.0	31.1	15.6	4.4	8.9	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	51.1	42.2	6.7	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42.2	44.4	13.3	0.0	0.0	0.0	100

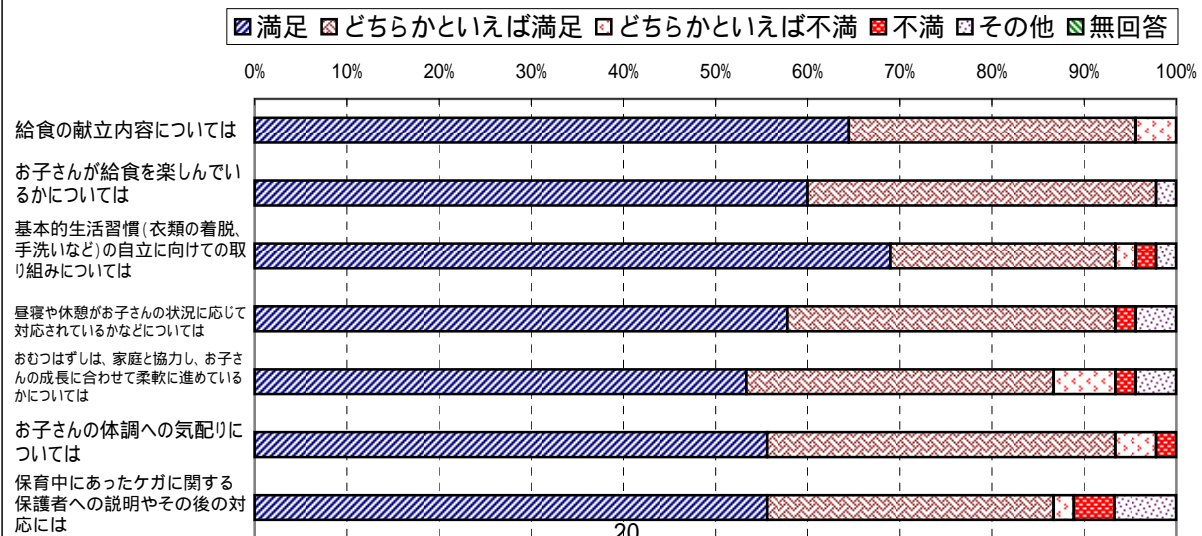
## 日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	64.4	31.1	4.4	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	60.0	37.8	0.0	0.0	2.2	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	68.9	24.4	2.2	2.2	2.2	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.8	35.6	0.0	2.2	4.4	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	53.3	33.3	6.7	2.2	4.4	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	55.6	37.8	4.4	2.2	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	55.6	31.1	2.2	4.4	6.7	0.0	100

## 日常の保育内容「生活」について



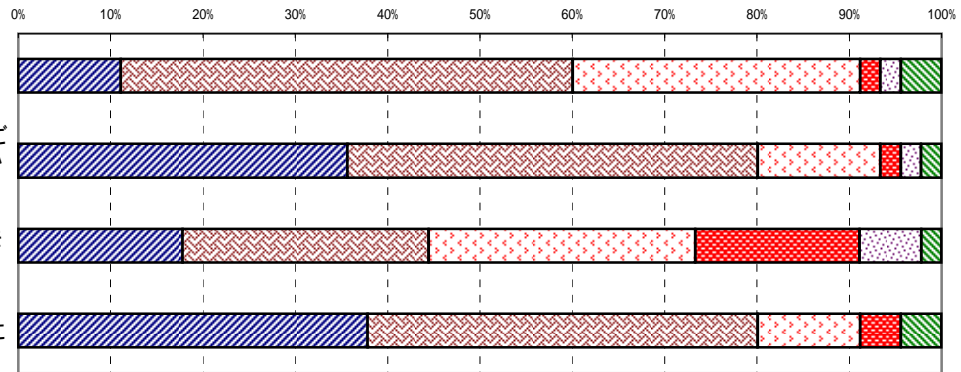
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	11.1	48.9	31.1	2.2	2.2	4.4	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	35.6	44.4	13.3	2.2	2.2	2.2	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	17.8	26.7	28.9	17.8	6.7	2.2	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	37.8	42.2	11.1	4.4	0.0	4.4	100

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



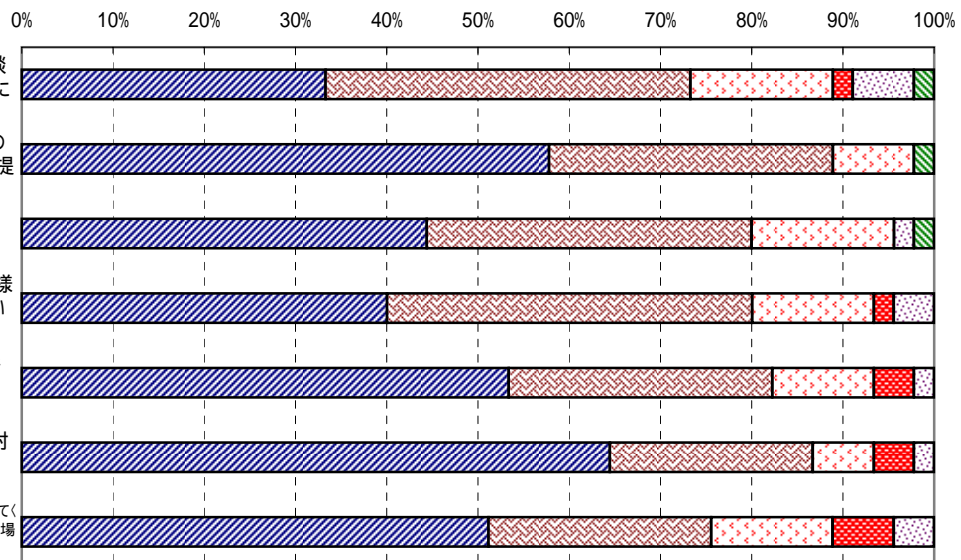
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	33.3	40.0	15.6	2.2	6.7	2.2	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	57.8	31.1	8.9	0.0	0.0	2.2	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	44.4	35.6	15.6	0.0	2.2	2.2	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	40.0	40.0	13.3	2.2	4.4	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	53.3	28.9	11.1	4.4	2.2	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	64.4	22.2	6.7	4.4	2.2	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	51.1	24.4	13.3	6.7	4.4	0.0	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

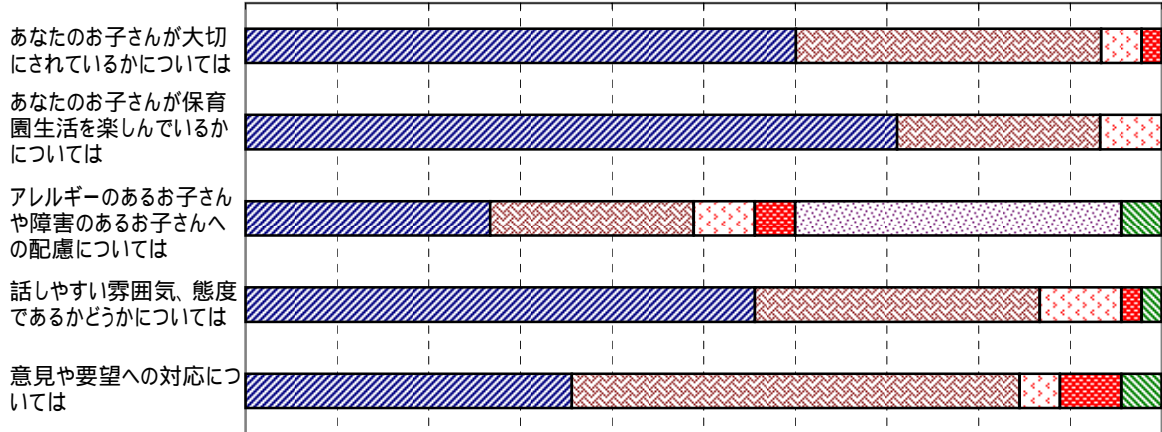
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	60.0	33.3	4.4	2.2	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	71.1	22.2	6.7	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	26.7	22.2	6.7	4.4	35.6	4.4	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	55.6	31.1	8.9	2.2	0.0	2.2	100
意見や要望への対応については	35.6	48.9	4.4	6.7	0.0	4.4	100

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

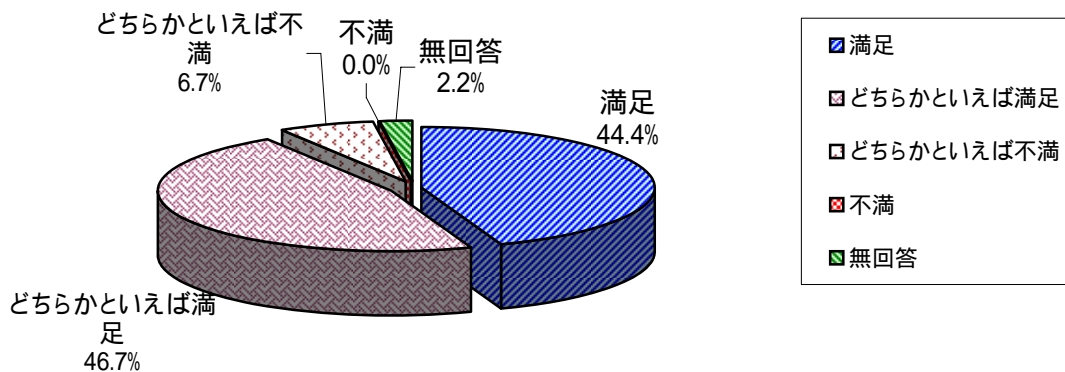


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	44.4	46.7	6.7	0.0	2.2	100

#### 総合満足度



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 1月21日（水）9：00～17：30 1月26日（月）8：40～17：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0、1歳児クラス

0歳児の低月齢の子どもたちは、1階奥のガラス窓のある壁で仕切られたほふく（はいはい）室を利用し、園庭に向かって日当たりが良く、落ち着いた雰囲気の中で過ごしています。0歳児の高月齢から1歳児クラスまではオープンスペースになっていますが、仕切りや柵で大きく3つに分かれ、1歳児も0歳児と同様に月齢によって、グループに別れています。

朝の自由時間は、グループ毎に、ブロックやおもちゃで遊んだり、保育士に絵本を読んで貰ってのんびりと穏やかに過ごしています。

朝の会とおやつが終わると、0歳低月齢児は、パネルでできたボールプールの中に入り、ボールを投げたりかき混ぜたり、ボールの上に嬉しそうに寝転んだり、ボールを外に放っては保育士が投げ返してくれるのが楽しそうです。0歳児の月齢の高い子どもたちは、同じボール遊びでも小さな穴を開けた大きな段ボール箱にボールを入れたり出したり、保育士とボールを投げたり転がしたりして遊んでいます。

1歳児のスペースの奥のコーナーでは、壁収納の扉と床に模造紙を張り詰め、子どもたちは紙いっばいに自由にお絵かきをしています。男の子が机の上にも書いてしまった時は、保育士は、「間違えちゃったね」と言ってすぐに模造紙を持ってきて、机の上にも貼り「さーどうぞ」と続けるように促しています。模造紙の上をおもしろがって滑って遊んでいる子どもや、クレヨンで電車に、模造紙に書かれたグルグル書きを線路に見立て、電車ごっこをしている子どももいます。

お絵かきに飽きる頃、保育士が手前のコーナーにおままごとセットを準備すると、気がついた子どもが徐々に移動してきてお店屋さんやお母さんごっこが始まります。人数が少なくなった奥のコーナーでは、引き続きお絵かきに没頭している子どももいます。子どもたちは、居心地の良いところを見つけて自分の好きな遊びに加わっています。

0歳児はおむつを替えるときに、吸水性のあるマットを広げた上でおむつ替えをします。このマットはそれぞれ名前が書いてあり、1日に2枚使い、排便の際には紙オムツと一緒に処分しています。1歳児になると、自分でパンツを脱いでトイレに行く子どももいます。

0歳児の食事は、低月齢の子どもたちはテーブルの付いたイスに座り、保育士が支援して食べさせていますが、自分でスプーンを持って食器からすくおうとする様子も見られます。月齢の高い子どもたちは、大きなテーブルでイスに座って自分で食べています。

1歳児は、お盆にひとり分ずつ給食をのせて運んでもらっています。おかずの切り方は子どもによって大きさを変えています。保育士は、「にんじんさん発見しちゃった」「スプーンがいい？フォークがいい？」「ご飯も一緒にたべよう」などと声をかけ、嫌いなものも無理強いせず、食べてみるように声かけをしながら、出来ないところは支援しています。

### 2歳児クラス

登園後は、ブロックなどのおもちゃやままごと道具で自由に遊んでいます。いつのまにか、3歳児が加わり、「お店屋さんごっこ」が始まりました。

保育士が「お片付け」と声をかけると、子どもたちは、自分からおもちゃをかごに入れ始めます。かごには絵が貼ってあり、子どもが整理しやすくなっています。

観察調査の日はインフルエンザで休みの子どもが多く、予定のプログラムを変更し散歩に行くことになりました。各自トイレに行き、上着を着て出かける準備をします。保育士はズボンをおろす時やボタンを



掛ける時に子どもが出来ないところを手伝っています。

散歩の時は、2人ずつ手をつないで、「あったかいね」「日陰が寒い」とおしゃべりをしながら、歩きます。途中で飛行機の音がするとみんなで探したり、遠くの建物から出る白い煙を見つけた子どもの「湯気が出ている」という言葉から、「何の湯気?」「目玉焼き」「今朝、何食べた?」「パンケーキ」などと、保育士の質問と子どもたちの回答が繰り返され会話が広がっていきます。

散歩から戻ると、保育士は食事の支度に取りかかります。子どもたちはトイレへ行き、自分で手洗いとうがいをし、好きな席に座ってお茶を飲みながら、配膳が終わるのを待っています。保育士の「くまさん、ご飯を食べましょう。手はおひざ。いただきます」という挨拶で、食事が始まると、スプーンを上手に使って自分で食べます。最後の集める時は保育士が手伝いますが、ゆっくりとしたペースで食べています。

食事が終わると、歯磨きをして、保育士に仕上げ磨きをしてもらいます。寝間着に着替え、脱いだものも自分でたたんでいます。それぞれのペースでたたむ様子を保育士は見守っています。

### 3歳児クラス

9:30頃、広い部屋で、3・4・5歳児が整列して、朝の挨拶をします。

観察 1日目は園庭に出て、三輪車・小型自動車に乗って元気に遊んでいました。途中で三輪車をひっくり返し、ペダルを手で回しているのは、「かき氷」だそうです。園庭は狭くてもクラス毎に時差をつけるなど、子どもたちが思い切り走り回れるように工夫しています。

2日目は、近くの広場に散歩に行くことになりました。朝の挨拶の後、順番にトイレに行き、自分で外へ出かける支度をします。支度が遅い子ども2人と嫌がっている4歳児とが後から出発しましたが、目的地の広場に着く頃には追いつきました。広場では、4・5歳児と一緒にゲームに参加したあと、ボール遊びやフラフープで電車ごっこなどをして、広場いっぱい走り回って遊びます。

給食の時間は、配膳が終わると、壁に貼ってある配膳の絵カードを保育士が指差しながら、テーブルの食器の並び方を確認します。当番が前に出て挨拶をした後、みんなで食べ始めます。10人のうち、5人は箸を使っています。あと一人、最初少しだけ箸を使って保育士に見守ってもらいながら食べた子どもは途中からスプーンになりましたが、「よくできたね」とほめられていました。ほとんどの子どもがお代わりをしていました。

食べ終わると自分で食器を片付け、歯ブラシとコップを持って席に戻り、座って歯磨きをします。最後に、保育士に仕上げ磨きをもらい、うがいをし、自分で寝間着に着替えます。

マイペースでとてもゆっくりと行動する子どももいますが、自分のことは自分で全てやっています。

### 4歳児・5歳児クラス

4歳児と5歳児は、殆どが合同保育となっています。

週1回、外部からの講師が来てリズム遊びをします。リズム遊びは、年齢によって内容が異なります。5歳児のリズム遊びでは鍵盤ハーモニカを取り入れ、3階の児童デイサービスの部屋を来所者がいない時間に借りて、リズムの先生と担任と一緒に、グループごとに順番に練習をしていました。鍵盤には、ど・れ・み・・・と書いたテープが貼ってあり、子どもたちは、「チューリップのうた」を上手に弾いていました。最後に全員でもう一度弾くと、「お片付け」の合図で、ティッシュで吹き口と鍵盤を拭き、ケースに収め、正座して「ごいっしょに、さようなら。ありがとうございました。」と、リズムの先生に挨拶をして終わります。

リズム遊びの後は、カレンダー作りをする子ども、色紙を折ったり切ったりして台紙に糊で貼り付けたり、色を塗ったりして、たこ揚げやロボットの絵を書く子ども、絵本の入った箱や本棚から自分で本を選び、テーブルで静かに読んでいる子どもなど、自分でやりたいことを選んで遊んでいます。

散歩先では、高速道路の高架下にある広場で3~5歳児が合同でゲームを行いました。保育士が三角ポー

ルを両サイドに並べて「この間で遊びます」と示して、ゲームの説明をします。子どもたちは、帽子を裏返し白帽子にするチームと、クラス別の色の帽子のチームに別れて整列します。

2人ずつ組になり、白帽子の子どもは“穴”役、色つき帽子の子どもは“アリ”役に分かれ、穴チームは立って手をつなぐと、その下にアリチームが手をつないでしゃがみます。保育士のかげ声に従って、保育士が「穴」と言えば、穴チームが動き、別のアリチームの上に立ちます。時々、保育士はわざと間違えて「ああああアンパンマン」などと、穴でもアリでも無い言葉を使ったときは動きません。この遊びの中では、保育室では自分のペースを崩さない子どもも友だちと手をつなぎ、ルールに従って同じ動きをしています。

給食は、保育士が食器に盛って前のテーブルに並べると、子どもたちは、それぞれ自分の食べる量にあったものを自分で選んで席に運びます。野菜もよく食べ、殆どの子どもがお代わりをしています。子どもに「嫌いなものはどうするの」と聞くと、「ちょっとだけ食べてみる」「減らして貰って、一生懸命食べる」という答えが返ってきました。

給食が終わると、自分で食器を片付け歯磨きをします。テーブルの片付けや掃除も進んで手伝い、片付けが終わると寝間着に着替えて、自分の好きな本を持ってきて読んでいます。午睡の時は、保育士は一人では眠れない子どもは奥の方に布団を引いて、保育士がそばで見守るようにしています。

## 事業者コメント

横浜保育室を経て認可保育園になり5年が過ぎました。ようやく理想に近い保育園の形が整ってきた中で、今回の第三者評価を受審することにより、大変充実した一年を過ごすことができました。

日々の保育、行事の取り組みなどに追われがちですが、一つ一つのチェック項目と照らし合わせつつ、職員が今までの保育を振り返り、意見をぶつけあうことができ、更に、各職員から貴重な生の声を聞くこともできました。

今回の受審により、当園園児に関する日常の対応や保護者の状況把握などについて、職員が見直す機会を得たことは、保育士のみならず全ての職員から「第三者評価を受審して良かった」という感想を得ることができました。

今後も、園の理念「一人ひとりを大切にする保育」を柱に、乳児はグループ担当制の保育、幼児は異年令保育の活動を行い、より良い保育ができるようにという思いを新たに、子ども達の6年間という、長い乳幼児期を大切に育んでいこうという意識を、一層徹底して参ります。

園長 太田和子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---